

2年保健体育 (MYP3 Physical & health education) 【保健体育：3単位】

教科のねらい

MYPの「保健体育」のねらいは、生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・ 探究的手法を使って、保健体育の概念について探究すること
- ・ 様々な状況に効果的に参加すること
- ・ 身体活動（運動）の価値を理解すること
- ・ 健康的なライフスタイル（生活）を実現し、維持すること
- ・ 効果的に他者と協働し、コミュニケーションを図ること
- ・ 他者と建設的・肯定的な人間関係を構築し、社会的責任を行動で示すこと
- ・ 自身の学習経験を振り返ること

目標と評価基準

評価基準	目 標
A：知識と理解	・ 「保健体育」に関する、事実に、手続き的、概念的知識を詳しく述べること
	・ なじみのある、あるいはなじみのない状況における問題について説明し、解決するために、「保健体育」に関する知識を応用すること
	・ 理解を伝えるために、「保健体育」の専門用語を効果的に応用すること
B：パフォーマンスの計画	・ パフォーマンスの改善に向けた目標を簡単に述べること
	・ 身体能力と健康を改善するための計画を設計し、説明すること
C：応用と実践	・ 幅広いスキルや技術を示し、応用すること
	・ 幅広い戦略や動きの概念を示し、応用すること
	・ 効果的なパフォーマンスに必要な情報を簡単に述べ、応用すること
D：パフォーマンスや競技の振り返りと改善	・ 対人スキルを強化するための方法を詳しく述べ、示すこと
	・ 計画の有効性を、その成果に基づき説明すること
	・ パフォーマンスについて説明し、評価すること

※「ねらい」・「目標」はIBO「Physical and health education guide」より。「目標と評価基準」はMYP保健体育3を使用。

関連概念（保健体育の学習を通して、生徒は以下の概念について考えます）

適応	バランス	選択	エネルギー
環境	機能	相互作用	動作
ものの見方	改良	空間	システム

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題の MYP 評価基準（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月)	1	1. Development (発展) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. コミュニケーションスキル、批判的思考スキル、振り返りスキル	A. 体づくりの運動 (ア. 体ほぐしの運動、イ. 体力を高める運動) ラジオ体操ではグループで体操の目的を理解し実践する。新体力テストは方法を理解し計測する。	「ブックレット」ラジオ体操を行うことでほぐれる体の部位を探究し、運動が及ぼす体への効果を検証する。【A】 「ブックレット」自己のパフォーマンスを評価し、本番までの準備について振り返る。【D】	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-D 2. C-15

前期 (5月)	2	1. Communication(伝達) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. コミュニケーション・批判的思考・協働・振り返り	C. 陸上競技 (ア. 持久走)	「ブックレット」持久走のより良いパフォーマンスを上げるため、自己の目標設定、記録測定、VTR撮影を行いながら計画を行う。【B】	1. ①思考・判断・表現-D 2. A-4
前期 後期 (6月～12月) ※各チーム毎にローテーションしながら実施	3	1. Change(変化) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関係) 3. コミュニケーションスキル・協働スキル・創造的思考スキル	E. 球技 (ア. アルティメット)	「ブックレット」チームメンバーと連携をとりながら、よりよいパフォーマンスを上げるための計画を行う。【B】 「ブックレット」チームとしてのパフォーマンスを評価し、それに基づき計画や行動の仕方を再設計する。【D】	1. ①学びに向かう力-B ②思考・判断・表現-D 2. A-5
	4	1. Relationships(関係) 2. 個人的・文化的表現 Personal and culture expression 3. コミュニケーション、情動、批判的思考	G. ダンス (ウ. チアダンス)	「ブックレット」効果的な目標を設定し、意味ある活動になる計画を立てる。【B】 「実技テスト」テーマにふさわしい作品をつくり、まとめ、表現する。【C】	1. ①知識・技能-C ②学びに向かう力-B 2. A-6
	5	1. Relationships(関係) 2. 個人的表現と文化的表現 (personal and culture expression) 3. 情報リテラシー、批判的思考、協働	F. 武道 (ア. 柔道)	「スライド」自己や相手の身を守る方法を知り、立ち技のスライドを作成する。【C】 「ブックレット」自己のスライドとパフォーマンスを評価する。【D】	1. ①知識・技能-C ②思考・判断・表現-D 2. B-7
後期 (12月)	6	1. Reationships(関係) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. コミュニケーションスキル・協働スキル・振り返りスキル	E. 球技 (ア. バスケットボール・バレーボール)	「formテスト」授業で得た知識をいろいろな形式で表現し、学んだ知識をformテストでアウトプットする。【A】	1. ①知識・技能-A 2. C-12
後期 (2月)	Un it 外	1. Relationships(関係) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. コミュニケーションスキル	E. 球技 (イ. 卓球、バドミントン)		
通年	7	1. Relationships (関係性) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関係性) 3. コミュニケーション・情動・メディアリテラシー	H. 保健・体育理論	評価規準 A (個人・グループ) 運動やスポーツの行い方の知識を学び理解する 評価規準 A (個人・グループ) 心身の機能の発達と心の健康を自分と他者のこととしてとらえ、思考し、理解を深める。【A】 「筆記テスト」保健で得た知識をいろいろな形式で表現し、学んだ知識を筆記テストでアウトプットする。【A】	1. ①知識・技能-A 2. C-12